

【担当教員名】 河田 誠・岡村 太郎	対象学年	1	対象学科	作業
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	30

【<概要>又は<一般目標：G I O>】

基礎作業学実習Ⅰ・Ⅱの学習を基礎とし、作業活動を治療応用へと発展させて考えることを経験する。知覚・感覚・運動機能障害や心理・神経機能障害の治療手段として作業活動を適用するための知識・技術、さらに作業活動指導法を習得する。

【<学習目標>又は<行動目標：S B O>】

1. 治療的応用としての作業活動の種目を10種類以上列挙できる
2. 機能障害に対する治療法としての作業活動を説明することができる
3. 個別的、集団的な作業及びレクリエーションアプローチの方法を述べることができる
4. 作業及びレクリエーションの治療的応用について説明することができる
5. 作業及びレクリエーション指導方法について体験する

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	作業療法の展開	1	講義：河田・岡村
2	作業の特性の理解	2	講義、演習：河田
3	身体障害領域における作業の用い方	2	講義、演習：河田
4	精神障害領域における作業の用い方	2	講義、演習：河田
5	発達障害領域における作業の用い方	2	講義、演習：河田
6	老年期障害における作業の用い方	2	講義、演習：河田
7	疾患別作業の治療的応用	2	講義、演習：河田・岡村
8	教授法	2	講義、演習：河田
9	教授法の実践（1）	2	演習：河田
10	教授法の実践（2）	3	演習：河田
11	教授法の実践（3）	4	演習：河田
12	教授法の実践（4）	5	演習：河田
13	教授法の実践（5）	5	演習：河田
14	基礎作業学実習のまとめ	1	講義：河田

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書 (必ず購入する書籍)				
参考書	作業・その治療的応用	日本作業療法士協会編集	協同医書出版	1999 8500円
	図解：作業療法技術ガイド	石川齊, 古川宏編	文光堂	8000円
その他の資料	プリント			

【評価方法】 ①レポート、②出席、③期末試験を総合して評価する	【履修上の留意点】
------------------------------------	-----------